

Reflection for Secure IT UNIX 8.0 SP2 Update1 アップデートのお知らせ

この度 Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX 8.0 を 8.0 SP2 Update1 (8.0.2.146) にアップデート致しました。以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- 1) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX サーバ 8.0 SP2 Update1 (8.0.2.146)
- 2) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX クライアント 8.0 SP2 Update1 (8.0.2.146)

2. 8.0 SP2 (8.0.2.109) からの主な変更内容

2.1 機能追加,仕様変更内容

1) 新プラットフォームに対応

- a) IBM AIX 7.2 (POWER) (*) 8.0.2.138 (=8.0 SP2 HF5)より対応
- b) SUSE Linux Enterprise Server 12 (IBM zSeries 64) (*)8.0.2.120 (=8.0 SP2 HF2)より対応

2) IBM AIX (POWER) 対応バイナリとして 64bit 版と 32bit 版の両方を用意

(*)下記不具合対策内容 2.2 - 2)による (*)8.0.2.138 (=8.0 SP2 HF5)より対応

3) "ssh2_config", "sshd2_config" における暗号アルゴリズム候補リストの見直し変更 :

a) Ciphers :

= AnyStdCipher (デフォルト) ~CBC(Cipher Block Chaining)モードを除外し下記内容に変更。
・ aes128-ctr, aes192-ctr, aes256ctr, arcfour, arcfour128, arcfour256

b) MACs :

= AnyStdMac (デフォルト) ~暗号強度の弱いものを除外し下記内容に変更。

・ hmac-sha256, hmac-sha2-256, hmac-sha1, hmac-sha512, hmac-sha2-512

= AnyStd 指定時 ~"none"を除外し下記内容に変更。

・ hmac-sha256, hmac-sha2-256, hmac-sha1, hmac-sha1-96, hmac-md5, hmac-md5-96,
hmac-sha512, hmac-sha2-512

4) "ssh2_config" における新規パラメータ"PkRsaSigTypes"の追加

・ PkRsaSigTypes :

= ssh-rsa-sha2-256@attachmate.com, ssh-rsa (デフォルト)

~公開鍵認証用 RSA 鍵の署名タイプ(SHA-2,SHA-1)を指定。

[説明]:ユーザ認証に RSA 鍵を使用時、(デフォルトの)クライアント側動作としては、まず SHA-2 署名による RSA 鍵を試行し、次に SHA-1 署名による RSA 鍵を試行する。

SHA-2 署名未対応のサーバによっては、エラーログを採取し問題となるため、その回避策として本設定にて"ssh-rsa"(=SHA-1)署名を指定する。

尚 RSIT では、UNIX Server /Windows Server 共に 8.0 から SHA-2(=SHA-256)署名に対応。

2.2 不具合対策内容

[A] サーバ機能

- 1) AIX において、共通設定に"AccountManagement=aix"を指定し、user か host の subconfig に "IgnoreRLogin=yes"を指定した場合に、"IgnoreRLogin=yes"指定が正しく機能しない問題
[対象] : 8.0.2.138 (=8.0 SP2 HF5) 及び それ以前

- 2) AIX において、"RSA SecurID" によるユーザ認証が失敗する問題

[対象] : 8.0.1.74 (=8.0 SP1 HF3) ~ 8.0.2.125 (=8.0 SP2 HF4)

[背景] : "RSA SecurID"に必要なシステムライブラリ"pam_securid.so"が 32bit 用しか存在せず、その対応のために"32bit 版"AIX 用バイナリを 8.0.2.138 (=8.0 SP2 HF5) から復活。

3. 対応プラットフォーム

- a) IBM AIX 7.2, 7.1, 6.1 (POWER)
- b) HP-UX 11i v3 (Itanium)
HP-UX 11i v2 (Itanium, PA-RISC)
- c) Red Hat Enterprise Linux 7 (x86-64)
Red Hat Enterprise Linux 6, 5 (x86, x86-64)
- d) SUSE Linux Enterprise Server 12 (IBM zSeries 64)
SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86, x86-64)
SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86, x86-64, zSeries 64)
- e) Oracle Solaris 11 (SPARC, x86-64)
Oracle Solaris 10 (SPARC, x86, x86-64)

4. 入手方法

[A] ボリュームライセンス(VPA)保守契約のお客様：

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし該当製品を入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス
 - i) 直接 URL (<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>) を入力 あるいは、
 - ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から
> [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウザ
- 2) 表示「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページにおいて、
お手持ちの"ユーザ名"、"パスワード"を入力しログイン
- 3) 表示「保守の内容」ページ内において、本製品の"ダウンロード"をクリック
- 4) 「Reflection for Secure IT UNIX Server」又は「Reflection for Secure IT UNIX Client」
一覧において 対象"ファイル名"をクリック：
～ 2番目の表"Service Pack or Patch"一覧表に今回バージョン 8.0+SP2(8.0.2.146)を表示。
説明欄に示す対象プラットフォームの"ファイル名"をクリックし、次ページに進む。
- 5) 「ファイル情報とダウンロード」ページにてダウンロード操作：
～ 下部枠内 "輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します"をチェックし、
"ダウンロード:(ファイル名)"をクリックしダウンロードを開始する。

[B] シングルパッケージ購入のお客様：

- ・本リリース発表後の出荷より、最新バージョン 8.0 SP2 Update1 の CD が添付出荷されます。
それ以前のバージョンをご使用で、バージョン 8.0 SP2 Update1 へのアップグレードをご希望の
お客様は、下記お問合せ先までご連絡下さい。 有償にてバージョンアップを承ります。

5. お問合せ先

ネットアイキュー株式会社

Tel: 03-4563-4200 (代表)

Email: j-info@microfocus.com

以上